

< 合 言 葉 >

いつも 明るい あいさつ で
なにごとにも 全力で 取り組む
だれにも やさしい 稲田っ子

いなだっ子

笠間市立稲田小学校

学校だより NO.30

令和4年10月27日(木)

創立 45 年目を迎えます

10月31日(月)は創立記念日です。現在の稲田小学校になって45年目を迎えます。1977年(昭和52年)に稲田小学校と福原小学校が統合し、稲田小学校となりました。この年の10月31日、校舎建築の起工式が行われ、この日を創立記念日と決めました。

校舎や校庭などは当時のままですが、変わったところもたくさんあります。昔の画像データがありましたので、いくつかご紹介します。本校卒業の保護者の皆様の中には、懐かしく感じられる方もいらっしゃるのではないでしょうか？

正門を入ったところ



正門から昇降口までの舗装された道は、以前は横断歩道や信号がありました。校内で交通安全教室を行っていたそうです。消えかかっていますが、今でも横断歩道は残っています。

校舎前の植え込み



B棟校舎前の植え込みです。以前は花壇で、季節に合わせて草花を植えていたそうです。現在はつつじが植えられています。

正門までの坂道



正門に向かう坂道です。右側は、サルビアやマリーゴールドなど、季節の草花が植えられていました。現在は砂利の駐車場になっています。

炊飯場あと



プリン山の近くの斜面には、今でもブロックが積み上げられているところがあります。以前は炊飯場でした。サツマイモを校内で栽培し、収穫したサツマイモをふかして、給食の時に食べたそうです。

歩行会



昭和54年に低学年は西念寺、稲田姫周辺、中学年が終山、高学年が吾国山へ行く歩行会が始まりました。高学年は、歩行会を行いながら、菊栽培のための堆肥を集めて持ち帰っていたそうです。

給食



校舎から体育館へ向かう通路の正面に、多目的室があります。以前は学校食堂だったところです。ここで、縦割り班などで給食を食べていました。稲田小は、当時茨城県で最初の学校食堂が設置された学校だったそうです。

校章の由来

昭和52年に稲田小学校と福原小学校が統合して、現在の稲田小学校ができました。校舎建設の竣工式が行われた10月31日を、創立記念日としました。その3年後の昭和55年に、校歌とともに校章はつくられました。

校章は一般公募で決まりました。飯田一男さんと長山守通さんが考えた図案をもとにつくられました。校章を考えるにあたって3つの段階をつけたそうです。第一は、いつの時代になっても変わらない知・徳・体の教育目標が包含されていること。第二に、統合小学校であることから、稲田・福原・本戸の3地区融和の願いを表現すること。第三に簡潔であること。この3つの条件を満たす形を考えました。その結果出来上がったものは、第一条件を3本のペンで表し、中心を市の花である菊を輪にしてつなぎ合わせ、第二条件の融和を表し、中に稲小を入れて完成させました。現在の教育目標「自ら学び 心豊かで たくましい稲田っ子」も知・徳・体をもとにつくられています。

